

新緑の色増す季節となり穏やかな日々が続いています。越美山系砂防事務所では地震や大規模土砂災害等の非常時に、職員の誰もが防災機器等の操作ができるように各種訓練を行っています。いざというときに慌てる事がないよう日頃からの訓練に励んでいます。

## 非常時に備えて訓練を実施

大規模地震発生時等に防災の拠点となる事務所の機能を確保するため、通信・情報・電源各設備に機能障害やその恐れがないかを点検します。非常時の際に点検がスムーズに行えるように、マニュアルに従い、点検対象機器・点検内容を把握し、実際に訓練を兼ねた点検を行いました。

また、可搬式情報コンセントを固定式情報コンセントと接続し現場の映像を伝送する訓練を行いました。受け手の事務所側で不慣れにより映像の表示がされないトラブルが発生するなど、改めて事前の訓練の大切さを痛感しました。

そのほかにも、災害対策室の立ち上げ訓練やテレビ会議システムの立ち上げ訓練など、非常時に備えた各種訓練を行っています。

※ 情報コンセントとは、商用通信回線の確保が困難な状況でも、管内に敷設された独自の光ファイバー網にPCやビデオカメラ等を接続し、即時に情報伝送を行うために整備された設備です。

## 3D測量で出来形管理 = 高地谷 =

揖斐川町小津(おづ)地先で工事を進める高地谷(たかちたに)第1砂防堰堤道路工事を施工する西濃建設(株)は、大同コンサルタンツ(株)と共同で、三次元レーザースキャナーによる出来形管理を試行的に実施しています。

三次元レーザースキャナーは離れた場所から、高精度な3次元座標を瞬時に取得できる計測器で、実測が危険な箇所でも安全に計測が可能です。今回施工する崩壊斜面を施工前後で計測し、その比較により出来形管理が行う事が出来ないかを試行的に行います。また、トータルステーションで得られた出来形との比較を行い、有効性等を検証する予定です。

5月1日には工事現場で前測のための三次元レーザースキャナーの実測が行われ、事務所職員や現場技術者がその様子を見学し、最新の技術に驚きの連続でした。



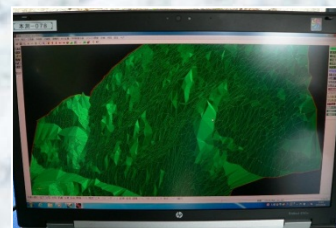
自家発電設備起動訓練



情報コンセント操作訓練



3Dスキャナによる  
スキャニングの様子



3D地形モデリングデータにより  
各種図面の作成が可能

## 安全利用点検に基づく応急措置完了

4月17・25日に実施した砂防施設の安全利用点検において、応急措置が必要と判断した箇所について、ロープ等による利用制限や注意看板の設置を完了しました。今回の措置はあくまで応急的なものです。利用禁止措置がされた施設には近づいたりしないで下さい。今後、順次補修作業を行い利用制限の解除をしていきます。



防護柵の破損表示  
(ナンノ谷第2砂防堰堤)



立ち入り禁止の表示  
(坂内砂防堰堤)

## 子ども歌舞伎が彩る伝統のお祭り

5月4～5日にかけて揖斐川町において、江戸時代享保年間に始まったとされる「揖斐祭り」が行われました。

揖斐祭りでは5つの町が1輛ずつ所有する豪華絢爛な芸やま(県有形民俗文化財)が三輪神社に曳きそろえられ、地元小学生がやまを舞台に子ども歌舞伎を演じ、また、白装束の男たちが3基の大神輿をかつぎ、続いてたくさんの神輿も出て町中を練り歩きました。



小学生によるやま芸の披露



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。  
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局  
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所  
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3  
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626  
E-mail: [ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp](mailto:ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp)

## 里山探検隊 隊員募集中

揖斐川上流の魅力を一緒に探しませんか

※切間近15月10日 募集のお知らせはココをクリック